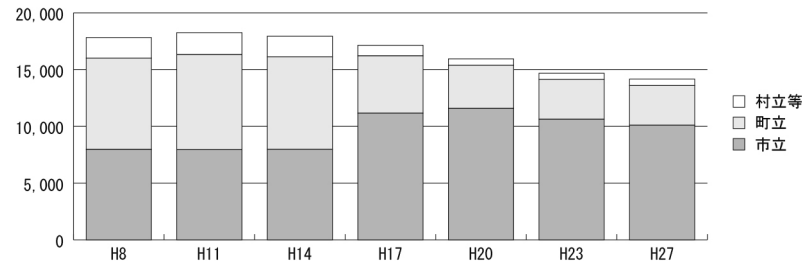


公民館数の推移

公民館は年々減少し、平成27年度には、約14,200館となっている。

区分	H8	H11	H14	H17	H20	H23	H27
市立	7,964	7,944	7,977	11,167	11,578	10,624	10,103
町立	8,049	8,383	8,144	5,046	3,807	3,524	3,491
村立等	1,806	1,930	1,826	930	558	533	577
合計	17,819	18,257	17,947	17,143	15,943	14,681	14,171
市町村数	3,255	3,252	3,241	2,248	1,810	1,743	1,741
うち公民館設置市町村数	2,967	2,983	2,950	2,004	1,595	1,501	1,448
設置率	91.2%	91.7%	91.0%	89.1%	88.1%	86.1%	83.2%



出典：社会教育調査

(文部科学省「公民館の現状と課題」より)

あずま市公民館利用規約

第1条 市民の活動の場所として、市民の結成した団体のいずれもが、政治活動、宗教活動、及び、営利活動を目的とする場合を除き、地区公民館の各施設・備品等を随時利用できる。また、利用団体の成員の過半数が市民であれば、団体内に市民ではない人物が参加していても利用できるものとする。

第2条 施設を利用する際には、利用団体は事前に予約を行わなければならない。

- (1) 予約の方法は、電話又はメール等で使用状況を確認した上で公民館に来館し、「公民館使用申込書」に必要事項を記入することとする。
- (2) 申し込みの際に、次の事項を付すこと。
 - ① 利用団体名、責任者名、及び、連絡先
 - ② 利用を希望する期日、及び、時間帯
 - ③ 利用目的、おおよその人数、利用を希望する部屋名、利用をしたい器具等の種類・数量

(予約受付)

……略……

第4条 利用者は、予約時に次の事項について確認しておくこと。

- (1) 利用希望時間帯が、公民館職員の勤務時間帯であるか不在時かを確認し、公民館職員不在帯の場合には、鍵の貸し借りについて事前に確認すること。
- (2) 備品や物品を使用する場合には、事前に使用物品について確認すること。
- (3) 利用内容により、安全保持のため定められている、火気使用上の留意事項、応急手当に関する留意点、食中毒予防・衛生管理に関する留意事項等について確認しておかなければならない。

第5条 利用の際には、次の点に注意を払わなければならない。

- (1) 予約した施設・物品は自由に利用できる。使用後は元の位置に返却すること。
- (2) 調理室を利用する際には、材料等消耗品は利用者が準備すること。
- (3) 調理や会食等で出たゴミ類は、利用者で後始末をすること。
- (4) 館内禁煙とすること。
- (5) 使用の終了時点での、火気、照明、戸締り等については十分な注意を払うこと。

(利用後)

第6条 施設等の使用終了に際しては、清掃を行う等、次の利用者に支障のないよう配慮し、最後に「会館使用簿」に必要事項を記入しなければならない。また、鍵の貸し出しを受けている場合には速やかに返却しなければならない。

……略……

◇大学生の正さんは、公民館を利用しようと考えている。以下は、正さんが利用しようとしている「あずま市公民館」の「利用規約」(資料Ⅰ)と、「公民館数の推移」を示した資料(資料Ⅱ)、「あずま市公民館の取り組み」(資料Ⅲ)、「および【正さんと父との会話】」である。これらを踏まえて、後の問いに答えよ。

あずま市公民館の取り組み

1 取り組み以前の状況

補助金の減少や社会教育関係団体の高齢化などが原因で、市民による生涯教育活動が沈滞化し、それに伴って公民館の利用者や利用率も低下していた。

2 浮かび上がった具体的課題

市内全戸対象アンケートを実施した結果、具体的課題が浮かび上がった。

- ① 地域福祉の充実
- ② 地域美化の推進
- ③ 安全な暮らしの確立
- ④ 子どもの教育の支援

3 公民館の主な取り組み

「あずま市まちづくり委員会」を設立。公民館がその事務局となった。公民館の職員が中心となって、市役所・小中学校・高校・社会福祉事務所・社会教育団体等と連携し、各種の運動を実施した。

- ・「健康意識調査」の実施
- ・「ウォーキングクラブ」の発足
- ・「花植え活動」の実施
- ・「里山保全運動」の実施
- ・「市内ひやり・はっと地図」の作成・配布
- ・「子ども見守り隊」の発足
- ・「お年寄りと子どもの交流運動」の実施

4 成果（市民の声）

- ① 縦割りではない、横に広がるネットワークができてきた。
- ② 子どもから高齢者まで一体となって行動する機会が増えた。
- ③ 世代を超えた同好の仲間ができた。
- ④ 問題を自分たちで解決しようという当事者意識が生まれてきた。
- ⑤ 公民館の利用者が増え、公民館での活動に親しみを感じるようになった。

【正さんと父との会話】

正 お父さん。実は、ぼくたちのハイクを作る会の合同ヒヨウ会を開こうと思って、あずま市公民館に問い合わせしてみたんだけど、断られてしまったね。困っているんだ。

父 公民館の方は、どう言っていたの。

正 まず、個人では予約ができないと言われたよ。それから、時間も合わないということらしい。ぼくらが使いたいのは午後六時から八時なのだけれど、その時間帯は公民館の職員の方の勤務時間を過ぎていたので予約はできないということなんだ。

父 公民館の利用規約を確認してみよう。ここにあるから。（「あずま市公民館利用規約」を読む。）そうだなあ。個人では予約ができないという点についてだが、たしかに『施設を利用する際には、利用団体は事前に予約を行わなければならない。』と書かれているね。利用するのは団体だというゼンテイがあるようだ。でも、どんな団体かという規定は特に記されていないわけだから、お前のその会に名前をつけて、こういう団体ですと名乗ればいいのではないかな。

正 時間帯についてはどうだろう。

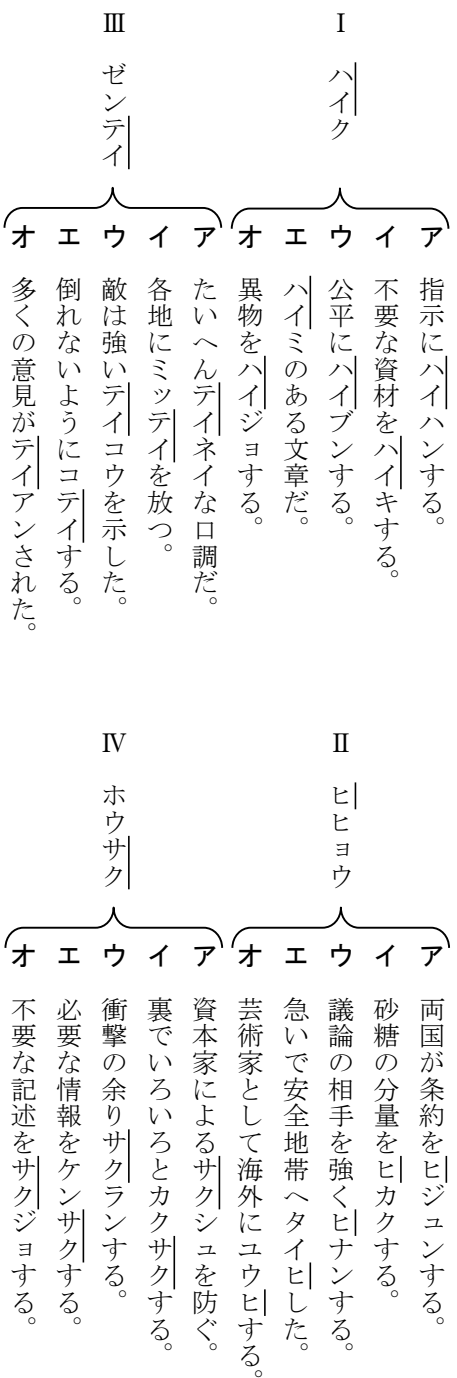
父 ちょっと待ってくれよ。その点も、何とかなるかもしれない。職員の勤務時間を過ぎていたら絶対に利用できないというわけではなさそうだよ。もう一度、問い合わせてみたらどうだろう。また、お前たちの会の方も、時間帯を少し変えるなどのホウサクがとれないか、考えてみたらいいと思う。

正 ありがとう。そうしてみるよ。

父 あずま市公民館も最近、もっと市民に広く利用してもらおうと、いろいろな活動をやっているようだよ。私の知り合いもそれに関わったのだが、まさにAの連続で大変らしい。だが、努力の甲斐あって、なかなかよい結果が出てきているということだ。つまり、公民館の方でも、できれば利用してもらいたいという気持ちはあるわけだね。相談してみたらきっと何かよい方法が見つかるのではないかな。

正 それなら、公民館は地域の大学と積極的に提携して、大学生にも門戸を開くといいと思う。あずま市には大学が三つもあるからね。ずいぶんたくさんさんの大学生がいるわけだよ。公民館を利用することで、そのたくさんさんの大学生が地域の人たちと交流を深めることができるようになったら、それは素晴らしいことではないかと思うんだ。新しいコミュニティの誕生が期待できるよ。

問1 【正さんと父との会話】の傍線部Ⅰ～Ⅳの漢字と同じ漢字を含むものを、次の各群のA～オのうちから、それぞれ一つずつ選べ。



問2 【正さんと父との会話】の空欄Aに入る四字熟語として最も適当なものを、次のA～オのうちから一つ選べ。

A 快刀乱麻 I 自業自得 ウ 七転八倒 エ 試行錯誤 オ 一触即発

問3 【正さんと父との会話】の傍線部「その点も、何とかなるかもしれない」とあるが、「父」は【資料Ⅰ】のどの部分を読んでこのように言ったのか。最も適当なものを、次のA～オのうちから一つ選べ。

- A 第2条の(1)
- イ 第2条の(2)
- ウ 第4条の(1)
- エ 第4条の(2)
- オ 第5条の(5)

問4 正さんは、父との会話をきっかけに公民館の利用実態に関心を持つようになり、その問題に関する資料を集めた。【資料Ⅱ】と【資料Ⅲ】はその一部である。また、次に示すのは、これらの資料を見て正さんが作ったメモである。メモ中の空欄B・空欄Cに入る内容を後の条件に従って述べよ。(ただし、句読点を含む。)

【正さんが作ったメモ】

公民館の数は、この一〇年ほどのあいだ **B**。その理由としては、 **C** に伴い、公民館の利用者や利用率が低下したことが考えられる。

条件1 空欄Bに入る内容は、【資料Ⅱ】から読み取ったことを一〇字以上、一五字以内で書くこと。
 条件2 空欄Cに入る内容は、【資料Ⅲ】の中の語句を用いて四〇字以上、四五字以内で書くこと。

問5 正さんはさらに、【資料Ⅲ】を踏まえて、「これからの公民館利用」というテーマで文章を書いた。次に示すのは、その結論に当たる部分である。この中の空欄Dに入る内容を、後の条件に従って述べよ。

【正さんの書いた文章の結論の部分】

このように「あずま市公民館」はさまざまな取り組みを行い、確実に成果を上げてきている。特に私は、「縦割りではない、横に広がるネットワークができてきた」という点に着目したい。現在、地域コミュニティの崩壊が危惧されているが、どうにかして従来のコミュニティに代わる新しいコミュニティを構築できないか。この「横に広がるネットワーク」には、そのヒントが隠れているように思われる。そこで私は、さらに次のようなアイデアを示したい。 **D** その新しいコミュニティの中心として、公民館は大きな働きができるのではないか。

- 条件1 二文構成で、一〇〇字以上、一二〇字以内で述べること。(句読点・符号を含む。)
- 条件2 一文目は「それは」という書き出しで、「地域の大学」という言葉を用い、提示するアイデアを示すこと。
- 条件3 二文目はそのアイデアによってどのようなことが期待できるかを示すこと。
- 条件4 【正さんと父との会話】から読み取った正さんの意見を踏まえて述べること。

解答解説

図表・実用文を読み解く②

(50点)

問1 IⅡエ IIⅡア IIIⅡオ IVⅡイ

(各3点—12点)

解説

- I 「ハイク」は「俳句」と書く。アは「背反」、イは「廃棄」、ウは「配分」、エは「俳味」、オは「排除」と書く。
- II 「ヒビヨウ」は「批評」と書く。アは「批准」、イは「比較」、ウは「非難」、エは「待避」、オは「雄飛」と書く。
- III 「ゼンテイ」は「前提」と書く。アは「丁寧」、イは「密偵」、ウは「抵抗」、エは「固定」、オは「提案」と書く。
- IV 「ホウサク」は「方策」と書く。アは「擷取」、イは「画策」、ウは「錯乱」、エは「検索」、オは「削除」と書く。

問2 エ

(4点)

解説

前の「いろいろな活動をやっている」と、後の「大変らしい」「なかなかよい結果が出てきている」に着目する。これらから「試すことと失敗を繰り返しながら目的に向かって進むこと」という意味のエ「試行錯誤」が最も適当だと分かる。ア「快刀乱麻」は「入り組んだ物事を鮮やかに解決、処理すること」。イ「自業自得」は「自分の悪行の報いを自分で受けること」。ウ「七転八倒」は「苦しみの余りのたうち回ること」。オ「一触即発」は「きわめて危険な状態のたとえ」である。

問3 ウ

(8点)

解説

傍線部の直後の「職員の勤務時間を過ぎていたら絶対に利用できないというわけではなさそうだよ」という「父」の言葉は、正さんが公民館利用の予約を断られた二つ目の理由である「時間も合わないということ」に対応している。より詳しく説明している部分は、「(六時から八時という)時間帯は公民館の職員の方の勤務時間を過ぎていては予約はできないということ」である。したがって、「公民館職員の勤務時間帯」でなくても利用できる可能性に関わる部分を選べばよい。ウの「第4条の(1)」が「公民館職員の勤務時間帯」に触れている。また、「公民館職員不在帯の場合には、鍵の貸し借りについて事前に確認すること」とあるのは、公民館職員の勤務時間帯からはずれていて、職員が「不在」であっても公民館を利用できるという前提に基づいた表現である。よって、ウが正解である。

問4 BⅡ

一貫して減少し続けている(一二字)

(8点)

CⅡ補助金の減少や社会教育関係団体の高齢化などを原因とした、市民による生涯教育活動の沈滞化(四三字)

(8点)

解答作成のポイント

- ・ Bは【資料Ⅱ】から読み取ったことを一〇字以上、一五字以内で書く。
- ・ Cは【資料Ⅲ】の中の語句を用いて四〇字以上、四五字以内で書く。

解説

【資料Ⅱ】で公民館数の推移を確認すると、H17(平成一七年)からH27(平成二七年)のほぼ十年間のあいだ、一貫して減少し続けている。この内容が空欄Bに入る。空欄Cには、公民館数が減少し続けてきた理由が当てはまる。空欄Cの後に「公民館の利用者や利用率が低下した」とあるのに着目すると、【資料Ⅲ】の「1 取り組み以前の状況」の内容と合致していることが分かる。したがって、この中の「補助金の減少や社会教育関係団体の高齢化などが原因で、市民による生涯教育活動が沈滞化し」の部分を活用して、空欄に当てはめるときに前後の語句に自然につながるように記述する。

問5

それは、公民館が地域の大学と積極的に提携して、大学生にも門戸を開くということだ。あずま市にある三つの大学に通うたくさんの大学生が公民館を利用し、地域の人たちと交流を深めていけば、新しいコミュニティの誕生が期待できる。(一〇八字)

(10点)

解答作成のポイント

- ・ 二文構成で、一〇〇字以上、一二〇字以内で書く。
- ・ 一文目は「それは」という書き出しで、「地域の大学」という言葉を用い、提示するアイデアを示して書く。
- ・ 二文目はそのアイデアによってどのようなことが期待できるかを示して書く。
- ・ 【正さんと父との会話】から読み取った正さんの意見を踏まえて書く。

解説

まず、まとめるべき内容が、【正さんと父との会話】のどこで語られているかを確認する。空欄Dの直前の「次のようなアイデアを示したい」に着目し、正さんが公民館に対して期待している部分を確認すると、該当箇所は【正さんと父との会話】の最後の部分「それなら、公民館は……新しいコミュニティの誕生が期待できるよ。」であると判断できる。したがって、この内容を一〇〇字以上、一二〇字以内の二文構成でまとめる。一文目は「地域の大学」という言葉を用い、提示するアイデアを示すよう指定されているので、「公民館が地域の大学と提携して、大学生にも門戸を開くということ」を述べる。二文目は、どのようなことが期待できるかを示すよう指定されているので、「大学生が地域の人たちと交流を深めていけば、新しいコミュニティの誕生が期待できる」ことを述べる。